


ロビー


1階展示室


3階展示室

つなぎ美術館は、熊本県水俣・葦北地域における芸術文化活動の拠点として2001年4月に開館した津奈木町立の美術館です。第二次海老原美術研究所の所長を務めた境野一之をはじめとする熊本県ゆかりの作家による作品やタイ山岳民族の衣装など約450点を収蔵しています。

野外彫刻群

津奈木町では1984年から「緑と彫刻のあるまちづくり」に取り組んでおり、町内の要所には佐藤忠良の作品をはじめとする16点の彫刻を展示しています。


《爽風》岩野勇三 1985年


《ひまわり》佐藤忠良 1996年


《シャツブラウス》笹戸千津子 1994年

INFORMATION 利用案内

開館時間
10:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日
水曜日（祝日の場合は翌日）、12／29～1／3
※臨時休館する場合があります。

観覧料
展覧会によって変わります。
※水俣市・葦北郡内の学校による利用は事前申請により無料。

喫茶室
10:00～16:30
※臨時休業する場合があります。

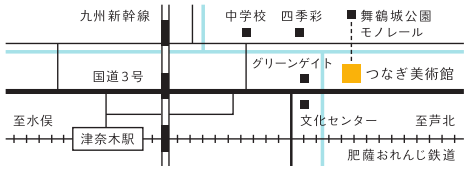
駐車場
13台
※つなぎ文化センターの駐車場もご利用いただけます。

モノレール
往復300円　片道200円
※臨時運休する場合があります。

美術館と舞鶴城公園展望所を結ぶモノレール（全長241m最高勾配33度）で片道5分のミニトリップが楽しめます。同展望所には野外彫刻が設置されており、晴れた日には不知火海が望めます。
※本年度は改修工事のため1月中旬から1か月半程度運休します。運休期間等の詳細はホームページでお知らせします。



ACCESS アクセス



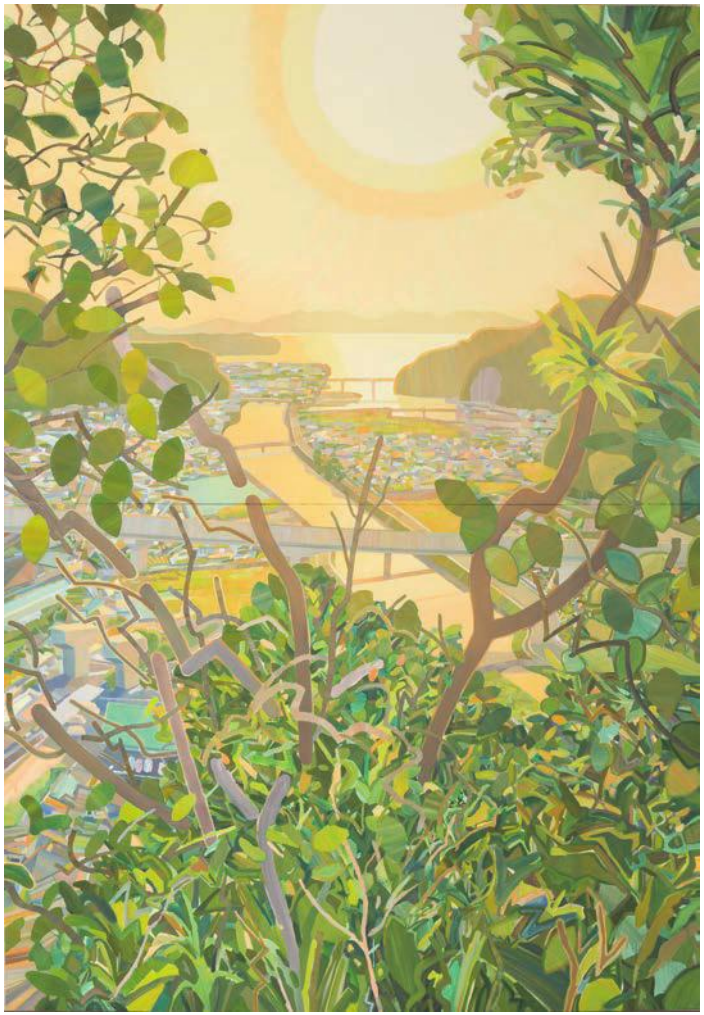


▶ 肥薩おれんじ鉄道・津奈木駅から徒歩10分
▶ 南九州西回り自動車道・津奈木I.C.から車で3分
▶ JR九州新幹線・新水俣駅から車で10分

つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM
〒869-5603　熊本県葦北郡津奈木町岩城494
TEL:0966-61-2222　FAX:0966-61-2223
http://www.town.tsunagi.lg.jp/Museum/

つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM
展覧会スケジュール / 施設案内

2018.4-2019.3 SCHEDULE & INFORMATION


《何時しかの夕暮れ》幸田千依 2016年 つなぎ美術館蔵

2018–2019 SCHEDULE 展覧会スケジュール

柴川敏之　ぼくのおくさん☆プロジェクト




《2000年後に発掘された招き猫の化石》2008年 個人蔵 ※参考作品

2000年後の未来から現代社会を俯瞰する現代美術家の柴川敏之による夫婦のパートナーシップを切口に社会の課題を考える住民参画型のアートプロジェクト。ゲストキュレーターとして柴川敏之の妻でESD（持続可能な開発のための教育）研究者の柴川弘子を迎えます。

プロジェクト期間:4月2日～11月25日
展覧会期:9月8日～11月25日

五十嵐靖晃　アートプロジェクト（仮）




《そらあみ〈島巡り〉》2016年 作家蔵 ※参考作品

アーティストの五十嵐靖晃が津奈木町を定期的に訪れ、人々とともに地域の歴史や風土を掘り起こし作品化します。詳細はホームページなどでお知らせします。

実施期間:5月上旬～3月下旬

西野達　《達仏》常設公開



《達仏》2017年 つなぎ美術館蔵 ※参考作品

現代アーティストの西野達が2017年の個展「ホテル裸島　リゾート・オブ・メモリー」で出品した《達仏》を追加制作することで規模を拡大し、パブリックコレクションによる常設作品として公開します。

公開時期:5月下旬～

4 April
5 May
6 June
7 July
8 August
9 September
10 October
11 November
12 December
1 January
2 February
3 March

1F 1F展示室

有料



4/28（土）～7/16（月・祝）
I Have a Dream　森英顕彫刻展

関連プログラム
アーティストトーク:4/28（土）14:00～
ワークショップ:5/27（日）10:30～

熊本を拠点に活躍する気鋭の彫刻家、森英顕の新作を交えて展示します。

《日常のかたち》2005年 作家蔵

有料

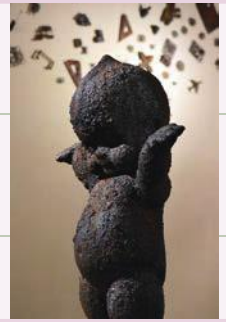


7/28（土）～8/26（日）
熊本の現代作家展'18（収蔵品）

坂本善三、宮崎静夫など熊本ゆかりの作家の作品を展示します。

《遠雷》宮崎静夫 1982年 つなぎ美術館蔵

有料



9/8（土）～11/25（日）
ぼくのおくさん☆柴川敏之展　PLANET HOME

2000年後の未来から現代社会を俯瞰する現代美術家、柴川敏之による「ぼくのおくさん☆プロジェクト」の成果展。夫婦のパートナーシップを切口に社会の課題を考えます。

《2000年後に発掘されたキューピー人形の化石》2013年 個人蔵 ※参考作品



12/8（土）～2/11（月・祝）
アーティスト・イン・レジデンスつなぎ2018
富田直樹展（仮）

大都市近郊の風景や若者をモチーフに日常の空虚感とダイナミズムを湛えた作品を生み出す富田直樹の個展。4か月にわたる津奈木町滞在で制作した新作を中心に展示します。アーティストトークなど関連プログラムの詳細はホームページまたは展覧会のフライヤーでお知らせします。

《Snowy morning》2016年 作家蔵 ※参考作品



有料

2/23（土）～4/14（日）
境野一之展　抽象世界へのいざない'19（収蔵品）

海老原喜之助の跡を継ぎ第二次海老原美術研究所の所長を務めた境野一之。旧満州（現中国東北部）や熊本での体験をモチーフに描いた詩情あふれる作品を展示します。

《エピローグ》1983年代 つなぎ美術館蔵

※掲載内容は変更になる場合があります。

3F 3F展示室

無料



4/28（土）～7/16（月・祝）
黒田征太郎 サン村田 描けてしまった展

日本を代表するイラストレーターの黒田征太郎とカナダを拠点に活躍する画家のサン村田の二人展。

《彼岸花》黒田征太郎 2018年 作家蔵



《CANADA〈GRAFTON〉》サン村田 2014年 作家蔵

無料

U-39 KUMAMOTO



7/21（土）～8/26（日）
加藤笑平　だぶるやまのは／overlapping mountain by future for my here

熊本ゆかりの若手作家の作品を紹介する「U-39KUMAMOTO」。今年は、絵画、パフォーマンスなど多彩な才能を発揮する加藤笑平の作品を展示します。

《みえない》2015年 個人蔵 ※参考作品

有料



《2000年後に発掘された携帯電話の化石》2005年 個人蔵 ※参考作品

有料



《No Job》2016年 個人蔵 ※参考作品

無料

2/23（土）～4/14（日）
タイ山岳民族 アカ族とヤオ族の衣装展（収蔵品）

「タイ山岳民族の衣裳とくらし」展（2002年）の開催にあたり、現地で収集した資料の中からアカ族とヤオ族の衣装を展示します。